

平和って何だろう。

この問いの答えは、1つではありません。無限に答えがあり、永遠に考えなければならないものです。今、世界では、核兵器保持、地球温暖化、人種差別、貧困など、多くの問題が存在します。平和な世界を実現することは、簡単なことではありません。しかし、未来世代における平和の実現に向けて、少しずつ行動することはできます。そのために、ここ長崎から、高校生である私たちが、平和への誓いを宣言します。

私たちは、核兵器の廃絶を求めます。

「核兵器を作るのも人間」「その核兵器を使うのも人間」「それをやめさせるのも人間」。これは被爆者の吉富安美さんが訴え続けている言葉です。1945年8月6日8時15分広島に、8月9日11時2分長崎に、原子爆弾が落とされました。一瞬にして、町は火の海となり、何十万もの尊い命が奪われました。いかなる理由があろうとも、人を殺める行為は絶対に許されません。殺戮兵器である核兵器は、決して存在してはなりません。しかし、世界には依然として12000発を超える核兵器が存在します。今もう一度核を用いた戦争が起こったならば、この地球は確実に滅亡を迎えます。そんな危険性を考慮したうえで核を抑止力として保持する理由はあるのでしょうか。今すぐに学生である私たちが核廃絶をすることはできませんが、身近なところに変化をもたらすことはできます。それは、近くの人を笑顔にすることです。誰かを笑顔にするには、相手を知り、その人を幸せにしたいという思いが必要です。核兵器の保持は、他国への不信感の現れだと私たちは考えます。誰かを幸せにするとき、そこには信頼関係が生まれます。信頼関係をつくる人が一人でも多くなることで、世界に連帯感が生まれていきます。その連帯感が高まっていくなかで、世界の不信感が少しずつ消えていき、核廃絶へと近づいていくと確信します。2 私たちは、核廃絶に向け、世界全体が人の幸せを願う社会をつくりま

私たちは、安全に暮らせる環境をつくりま

私たちが住むこの世界は、今、多くの環境問題に直面しています。私たち人間の開発により、この社会は目覚ましい発展を遂げてきました。しかしその反面、過度な温室効果ガスの排出や生物多様性の喪失など、発展によって新たな問題が引き起こされています。世界では、パリ協定や生物多様性条約を代表とする国際的な取り組みがすでになされています。国際社会が協力して取り組むような大規模な問題を、私たちの手で解決できるのか。そう思われるかもしれませんが、私たち一人ひとりが行動を起こすことで、変革へ近づくことができます。食品廃棄量を減らすこと、エコバッグを使うこと、ごみを分別すること。これらの行動は焼却処理の負荷を軽減でき、CO2排出量を抑えることにつながります。私たちは、これからも自分にできることを続けていく努力を怠りません。地球市民として、将来も住み続けることができる環境づくりに取り組みます。

私たちは、誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりま

この世界は、肌の色や顔つき、その地域に根付く文化など、多様性に溢れています。人種、性別、宗教など、様々な点において、誰もがありのままに生きる権利を持っています。しかし世界では、人種差別や性差別、宗教的迫害など人々の多様性を妨げるような行為が後を絶ちません。なぜ同じ人間同士で、差別が起こるのでしょうか。人間の命は皆平等です。人類は本来あるはずもない違いをつくり出し、優劣を決めてきました。誰もが自分らしく生きるためには、差別によって考えや行動が否定されることがあってはなりません。差別をなくすためには、多様性を受け入れる謙虚さを持って、相手を「知る」ことが必要であると私たちは考えます。謙虚な姿勢を持って人と接することで、人々の間にある「違い」は優劣をつけるためにあるのではなく、尊重するべきものであると気付けるはずです。私たちは、相手の考え方や行動の背景にあるものを、想像力を持って「知る」努力を怠りません。差別のない社会の実現へ近づこう、成長を続けます。地球市民として、まずは私たち自身から、差別のない環境をつくりま

私たちは、人権を損なう不当な労働を許さず、経済成長と地球環境の保全が両立する世界を創ります。 現在、世界には働きがいのある人間らしい仕事ができない国や地域が多数存在します。その中には、不当な強制労働や児童労働によって、人権を侵害しながらより多くの利益を獲得しようとする状況もみられます。また、経済成長を果たす中で、地球の環境が損なわれる状況 になってはいけません。行き過ぎた資源の消費を避け、少ない資源投入で生産性を上げる努力を続けるべきです。この現状を打破するために、私たちは、強制労働や児童労働など、不当な労働条件で商品を 生産し販売する企業を許しません。また、少ない資源投入で生産性を上げるべく、社会にイノベーションを起こせる人材となるよう、多様な人たちと創造性を高める努力を続けていきます。倫理観に根差した経済成長を果たせる社会を構築していきます。

平和の実現は願うだけで達成されるものではありません。特定の国や人だけでなく、この世界すべての人が協力し合う必要があります。

「すべての行動や意識には必ずつながりがある。あなたの行動が世界を変える。」

この平和共同宣言を世界中に届け、未来を担う私たちが次世代へ平和のバトンを繋いでいきます。平和な世界を実現し、それを守り続けていくことをここに宣言します

「ともによき世を創る」「おのれに徹して人のために生きよう」